

# 安全上のご注意

## 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



### 注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



### 注意

 禁止	●お子様を本商品まわりで遊ばせない 扉が外れたり、破損してけがのおそれがあります。	 禁止	●地板に乗ったり、足をかけたりしない ユニットが破損・落下してけがをする おそれがあります。
	●扉に登ったり、扉や取っ手にぶら下がったりしない 扉が落下してけがをするおそれがあります。		●爪の長い方は扉の開閉に注意する 守らないと、けがの原因となります。
 必ず守る	●カウンターに乗らない けがをするおそれがあります。	 必ず守る	●収納質量制限(均等荷重)を必ず守る 重たいものを入れるとユニットなどが変形・破損したり、落下してけがをする 原因となります。
	〈吊り施工の場合〉 ●ユニットは、下駄箱(靴収納)として使用する 下駄箱以外の目的で使用されますと、ユニットが 落下し、けがをするおそれがあります。		

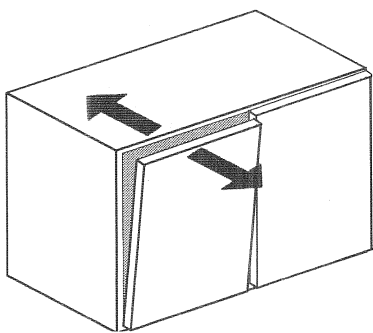
下記の状態の場合、扉が傾いている可能性があります。  
蝶番にて扉の調整を行ってください。



禁止

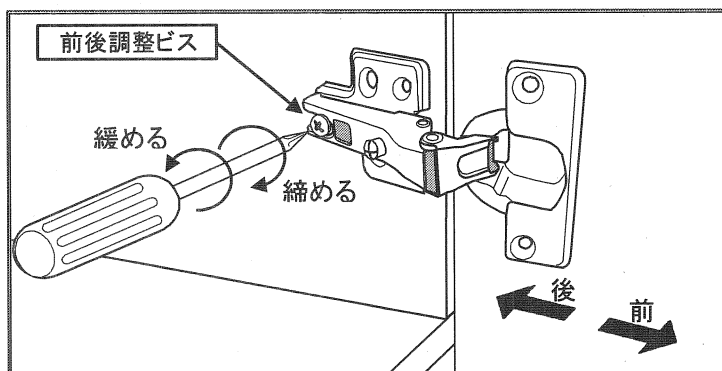
調整用ビス以外(金物の取付ビスなど)は緩めたり、  
締め直したりしないでください。  
ビスの保持力がなくなり、扉が落下して破損やケガを  
する恐れがあります。

【前後が合わない場合】

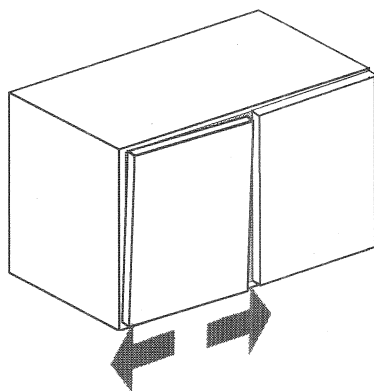


前後の調整

前後調整ビスを緩めて扉を前後に調整します。  
調整後はビスを必ず締めてください。



【左右が合わない場合】



左右の調整

左右調整ビスを回して扉を左右に調整します。

